※令和４年度以降入学生用

学校番号	1203

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校生の美術３　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術Ⅰや美術Ⅱで習得した技法や表現方法を生かしながら、より扱いが難しい素材や制作工程が複雑な分野に挑戦します。自ら考え、イメージを深めて独自性を追究することを重視しますが、先を見通し計画的に制作を進める力も身につけていきましょう。最後は卒業制作展で発表することを目標にしています。
・自分の作品について制作意図を他者に伝えること、他者の作品についても理解を深め、そのよさを共有し、自分の制作に生かすことができるように「鑑賞」の時間も大切にします。日本や世界の美術作品についてもたくさん触れていきます。

2　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を豊かにし、生活や社会の中の多様な美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】
・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
・造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
・主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表している。	・造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創造的な工夫，美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、 それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	題材名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知（a）	思（b）	主（c）
１学期	オリエンテーション	オリエンテーション ・シラバスを使い「美術Ⅲ」の年間の学習イメージをつかむ。	c:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習と制作に意欲を高めている。			ワークシート 学習の記録簿
	蝋に描く　感情を表すドローイング	【絵画】【鑑賞】 ・「針で描くドローイング」 ①ドローイングワーク 感情、想いを線で表すワーク ②相互鑑賞 自分では発見できなかった線の表現を他者の作品から見つける。 ③本制作：紙に蝋を塗り、針で描く。その後、針で描いたところにインクを塗りこみ、新聞紙をかぶせ、アイロンで熱し蝋を吸い取る。 ・完成レポート	a:（知識）表したい意図と線の表情との関係を意識し、多彩に変化する線の効果を理解している。 a:（技能）意図する線の表情を筆や針を使って創造的に表している。 b:（発想や構想）線の強弱や表情など、その多彩な表現の効果を意識し、イメージを深め、表している。 b:（鑑賞）他者の作品の主題や作者の表現の意図を線の表現から感じ取り、表現の工夫などを自分の制作に生かすことができる。 c：新しい表現方法に興味を持ち、積極的、主体的に制作や鑑賞活動に取り組もうとしている。	作品 完成レポート	作品 完成レポート	活動の様子 完成レポート 鑑賞ワークシート 学習の記録簿

※令和４年度以降入学生用

	アイスクリームをおいしく食べるマイスプーン制作	【木工】 ・「デザイン」とは ワークシートを用いて目的と機能を持つ美しいデザインについて考える。 ・アイデアスケッチ ・木材に転写する ・糸鋸を使い、形を切り出す ・ヤスリがけをする ・オイルを塗りこみ、仕上げの作業をする ・試食 実際に試食し、発見した課題を修正する ・完成レポート	a：（知識）素材のよさと特性を理解し、形や全体のイメージを理解し、デザインしている。 a:（技能）各工程での用具の使い方を理解し、適切に用いることができている。 b:（発想や構想）機能と独自性とのバランスを考えた合理的なデザインの構想を練っている。追求している。 b：（鑑賞）各工程において自身の作品を観察し、作業上の反省点や改善点を整理し、創造活動に生かしている。 c:（表現と鑑賞）自身のめざす用途と機能、形のイメージを持ちつつ、主体的に表現と鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	ﾜｰｸｼｰﾄ 作品 完成ﾚﾎﾟｰﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ ｱｲﾃﾞｱ ｽｹｯﾁ 作品 完成ﾚﾎﾟｰﾄ	活動の様子 ﾜｰｸｼｰﾄ 完成ﾚﾎﾟｰﾄ 学習の記録簿
	ステンドグラス（基礎・技法習得）	【ガラス工芸】【デザイン】 ・ガラスカットの練習 透明ガラスを使ってガラスのカット練習をする。 ・小作品制作 カットしたガラスや割れガラスを用い、小品を制作する。５ピース程度の作品を制作する過程で全行程を体験的に理解する。 ・振り返りプリント 制作工程をふりかえり、反省点を整理し、本制作に生かすようにする。	a：（知識）ステンドグラスの素材の持つ特性や制作工程を理解している。 a:（技法）各工程での用具の使い方を理解し、適切に用いることができている。 b:（発想や構想）素材と技法のもつデザイン上の制約をふまえ、デザインしている。 c:（表現）ステンドグラスの技法に興味を持ち、それぞれの工程を理解しようと積極的に取り組んでいる。 c:（鑑賞）各工程を振り返りながら自身の作品を観察し、作業上の反省点を整理し、生かそうとしている。	制作途中の作品 作品	作品	活動の様子 学習の記録簿

※令和４年度以降入学生用

2 学 期	ステンドグラス（応用・鏡のあるデザイン）	「鏡のあるデザイン」 ・図案制作 鏡を効果的に使ったデザインを考える。 ・ガラスカット 完成イメージに基づき、ガラスの質感や色に注意し、ガラスを選ぶ。 ・ルーターでガラス側面を整える ・銅テープを巻く ・ハンダ付けする ・パティーナで仕上げ ハンダ部分を黒染めし、ガラスを磨く。	a:（知識）ガラスの特性を理解し、色の持つ効果や全体のイメージを考慮し、デザインしている。 a：（技能）各工程での用具の使い方を理解し適切に用いている。 b:（発想や構想）自身が想定した設置場所や素材と技法のデザイン上の制約をふまえつつ、主体的に主題を生成している。 b：（発想や構想）鏡を効果的に扱った創造的で合理的なデザインの構想を練っている。 c：（表現）作品の完成イメージを持ちつつ、見通しをもって計画的に制作に取り組んでいる。 c：（鑑賞）自身の作品について、工夫したところや表現の意図を説明でき、他者の作品の表現の工夫やよさ、美しさなどを感じ取り、言語化しようとしている。	図案 制作途中の作品 作品 完成レポート	図案 制作途中の作品 作品 完成レポート	活動の様子 完成レポート 学習の記録簿
3 学 期	ステンドグラス（展示・鑑賞　卒業制作展	【鑑賞】 ・作品展示と鑑賞 卒業制作展で展示する	a:（知識）配色の効果や全体のイメージを感じ取り、造形の専門用語を用い説明している。 b:（鑑賞）自分のデザインや表現について、工夫したところや表現の意図を他者に説明できる。他者の作品の表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、言語化している。 c:（鑑賞）作品のよさや美しさ、作者の表現の工夫や意図などに関心を持ち、作者の想いや作品について理解しようとしている。	鑑賞ワークシート	鑑賞ワークシート	活動の様子 鑑賞ワークシート 学習の記録簿

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度